





# 南河内第二中学校区小中一貫教育グランドデザイン

《長期ビジョン》

夢と希望をもち、たくましく未来を拓く児童生徒の育成

## 各学校の学校教育目標

### 祇園小学校

響き合い、輝き合いながら共に  
よりよく生きようとする子どもの育成  
○健康で明るい子  
○進んで学ぶ子  
○心の豊かな子



### 緑小学校

自ら考え、主体的に行動できる  
心豊かな子どもの育成

○学び合う子  
○思いやる子  
○きたえる子



### 南河内第二中学校

人間性豊かで、意欲あふれる中学生  
1 自ら考え学ぶ生徒 (確かな学力)  
2 思いやりのある生徒 (豊かな人間性)  
3 体力と気力をきたえる生徒 (健康・体力)  
知・徳・体の調和のとれた教育で  
「生きる力」を育成



## =特色=

施設分離型で小中一貫教育を進めています。3校が近距離にある環境を有効に活用し、児童生徒間や教職員間の交流を活発に行っています。

伝える力の育成を通して、確かな学力の向上を目指します。

## =地域の様子=

本地区は、自治医科大学および大学付属病院の開業、自治医大駅の新設により、急速に発展した地域です。地域住民・保護者は、他地域出身の割合が高く、学校の教育活動に協力的です。

## =児童生徒の様子=

知的好奇心が高く、学習態度は良好で、課題に対し熱心に取り組むことができます。また、礼儀正しく落ち着いた生活態度で学校生活を送っています。

2022～2023年度 南河内第二中学区  
実践研究「伝える力の育成」  
教育活動全体を通して、考えや気持ちを理解し、互いに認め合える子どもを育成します。  
重点教科(国語、外国語)

## 《目指す子ども像》

〈まなび〉 主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える子ども  
〈こころ〉 思いやりの心を持ち、自他を大切にできる子ども  
〈からだ〉 健康に関心を持ち、体力向上に励む子ども  
〈ちいき〉 社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする子ども

## 小中一貫推進運営委員会(管理職チーム)

児童生徒指導連絡会

事務共同実施  
(事務職チーム)

## プロジェクト委員会

## 授業研究チーム

## 心づくりチーム

## 健康チーム

## つながりアクションチーム

### まなび

基礎 基本を定着させ、児童生徒の主体性を引き出します。

達成目標	中2～中3	主体的・対話的に学び、互いに高め合うことができる。
	小5～中1	学び合いを通して、思考力と表現力を高めることができる。
	小1～小4	学習習慣を身に付け、自分の考えをもち、進んで表現することができる。

- 9年間を見通した学習指導の推進
- 3校での授業研究(重点教科国語・外国語)
- 学力調査の分析を生かした授業改善
- 家庭学習の定着と充実



小中教員の相互乗り入れ授業



外国語科の授業

### こころ

自他ともに思いやりの心をもって接する児童生徒を育てます。

達成目標	中2～中3	自他のよさを認め、関わりの中で温かい人間関係を築くことができる。
	小5～中1	仲間との関わりを深め、互いに信頼し、協力して活動できる。
	小1～小4	きまりを守り、誰とでも仲良くできる。

- 挨拶の習慣化と望ましい人間関係づくり
- 道徳教育の充実
- 交流活動を通じた自己有用感の育成
- 読書活動の推進



特別の教科道徳の授業



読書活動

### からだ

健康に対する関心と体力の向上を目指します。

達成目標	中2～中3	自らの健康管理や体力の向上に進んで取り組むことができる。
	小5～中1	自己の生活習慣に関心を持ち、各種の運動に積極的に取り組むことができる。
	小1～小4	「早寝早起き朝ごはん」を実現し、運動や遊びに進んで取り組むことができる。

- 正しい姿勢の定着
- 学校栄養職員と連携した食育
- 養護教諭と連携した保健指導
- 体づくりの充実



姿勢指導



体づくり

### ちいき

保護者や地域と連携して、地域への愛着を育てます。

達成目標	中2～中3	地域やふるさとへの愛着を深め、地域社会に主体的に貢献できる。
	小5～中1	地域やふるさとへの愛着をもち、地域社会と関わるができる。
	小1～小4	地域やふるさととのよさを知ることができる。

- 児童会・生徒会によるボランティア活動(小中合同クリーン活動)
- 子ども未来プロジェクトの推進
- 地域行事への参加・協力
- 地域ボランティアによる体験活動とキャリア教育の充実



小中合同クリーン活動



子ども未来プロジェクト



# 石橋中学校区小中一貫教育グランドデザイン

## 石橋中学校区の特徴

分離型で小中一貫教育を進めています。学校規模の違いや特徴を生かした児童生徒の交流や教職員の授業交流を計画的に行っています。全教育活動を通じた心の教育の充実を図ります。

## 児童・生徒の様子

- ・素直で何事にも真面目に取り組んでいる。
- ・基本的な生活習慣が身に付いている。
- ・地域の活動に意欲的に取り組んでいる。

## 地域の様子

- ・学校教育に協力的であり、学校を支援する組織も活発に活動している。
- ・学区には、農業地区・商業地区・住宅街があり、バランスのよい生活環境である。

# 地域とつながり 社会に貢献できる子

石橋小学校



細谷小学校



古山小学校



石橋北小学校



石橋中学校

【施設分離型】

学び

心

体

到達目標

自ら学び、主体的に自己表現できる子

周囲のことを考えて、行動できる子

心身ともにたくましく、挑戦できる子

深める 中2・3	学んだことを主体的に自己表現したり、自己の生き方に生かそうとしたりする力を身に付けることができる。	周囲のことを考えて行動し、地域や社会に貢献することができる。	体力の向上と心や身体の健康を維持し、たくましく挑戦していくことができる。
広げる 小5・6・中1	学んだことを活用して、論理的に考えたり、表現したりできる。	協力する大切さがわかり、誰に対しても思いやりの気持ちをもって行動できる。	自らの体力向上に向けて、進んで体力づくりに取り組むことができる。
育てる 小1・2・3・4	自分から進んで学び、計画的に学習できる。	約束や決まりを守り、誰とでも仲良くできる。	様々な活動や遊びを通して、楽しみながら運動できる。

## 2022-2023年度 石橋中学校区実践研究 心の教育

教育活動全体を通じて、居がいのある学級・学校づくりを推進し、児童生徒の自己肯定感を高め、豊かな情操と道徳性を備えた、社会の中で進んでよい行いができる子どもの育成を目指します。

## 石橋中学校区小中一貫教育組織

管理職部会(校長)

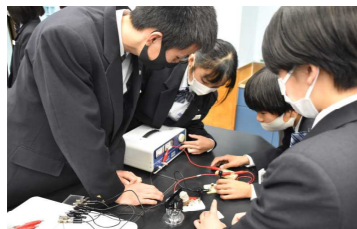
推進委員会(教頭・プロジェクト委員・各部長)

事務部会

### 学習指導部

#### 主体的に学ぶ児童生徒の育成

- 学習指導部会
  - ・授業力の向上
  - ・9年間を見通した学習習慣の確立
  - ・タブレットの効果的活用
- ・新学習指導要領に添った授業実践
- ・家庭学習強調週間(質の向上)
- ・全とち学テを活用した手立て



研究授業



グループ学習での学び合い

### 学校生活部

#### 児童生徒の思いやりと主体性の育成

- 道徳推進部会(研究チーム)
  - ・道徳授業の充実
- 児童生徒指導部会
  - ・地域クリーン活動の実践
- 特別支援・教育相談部会
  - ・リモート交流会、不登校対策情報交換会の実施
- 特別活動部会
  - ・学級カアンケートの活用



特別支援学級リモート交流会



クリーン活動



学級活動での話し合い

### 健康体育食育部

#### 児童生徒の健やかな体づくり

- 体力増進部会
  - ・教科体育や業間活動の工夫
  - ・外遊びの奨励(基礎体力向上)
- 健康増進食育部会
  - ・早寝早起き朝ご飯の指導
  - ・メディアコントロールウィークの実施



体力づくり



柔軟性アップ運動



食育授業

### 地域との連携

- PTA活動
  - ・家庭教育学級、懇親会でのPTA交流



家庭教育学級

- 学校運営協議会
  - ・委員が複数校を兼任



学校運営協議会

- 防犯安全教室
  - ・中学校区での防犯安全教室



親子学び合い教室

- 情報モラル教室
  - ・親子学び合い教室

- 地域学校協働活動との連携強化
  - ・公民館広報誌を通しての地域ボランティアの募集
  - ・交通安全ボランティアの充実



登校時の見回り



# 国分寺中学校区 小中一貫教育グランドデザイン



## 国分寺中学校区の目指す子ども像

- 学び合い高め合う子ども
- 主体的に人や社会に関わる子ども
- 心身共に健康で自分を大切にする子ども

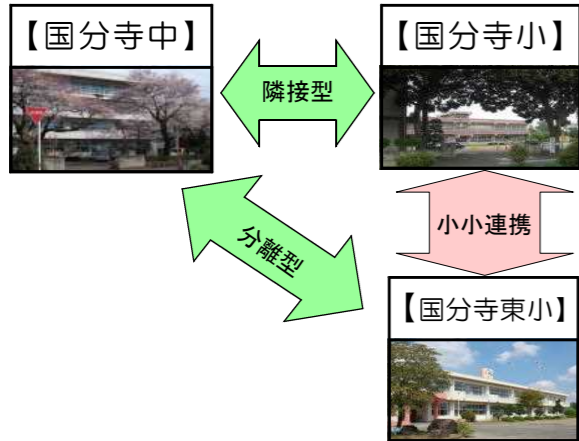
2022～2023年度

国分寺中学校区実践研究

「学び合いを深める

聴く・伝える・関わる力の育成」

全教科・領域において、4つの部会での取組を通し、学び合いを深める聴く・伝える・関わる力を育成します。



### 組織体制

推進部会

事務部会

教務部会

		<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な意見を、自分なりに解釈しながら聴くことができる。</li> <li>わからないことなどを質問し、話し手の意図を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の人の考えと、自分の考えとを関連づけて伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時と場合に応じてコミュニケーションをとることができる。</li> </ul>	学びを深める 中3 中2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな意見でも受容的な態度で聴くことができる。</li> <li>他の人の考えと、自分の考えを比べながら聴くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを分かりやすく伝えることができる。</li> <li>時と場合に応じた言葉遣いを行うことができる。</li> <li>自分の考えを明確にし、理由も交えて伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時と場合に応じたあいさつ、返事ができる。</li> <li>相手の気持ちや立場を考えて、自分の思いを伝えることができる。</li> </ul>	学びを広げる 中1 小6 小5
		<ul style="list-style-type: none"> <li>大事なことを落とさずに聴くことができる。</li> <li>わからないことを、友だちに尋ねることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを分かりやすく伝えることができる。</li> <li>相手を意識した話し方ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から元気の良いあいさつ、返事ができる。</li> <li>話を最後まで聴き、自分の思いを伝えることができる。</li> </ul>	学びの基礎をつくる 小4 小3 小2 小1
		<ul style="list-style-type: none"> <li>先生や友だちの顔を見て、反応しながら最後まで聴くことができる。</li> <li>聴いて、わかったこととわからないことを、区別できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思ったことを素直に話すことができる。</li> <li>聞きやすい声の大きさ、言葉で話そうとすることができる。</li> </ul>		
		<b>聴く</b>	<b>伝える</b>	<b>関わる</b>	
<b>安心感をもって学び合える学級</b>					

### 特色

隣接型および分離型で小中一貫教育を進めている。  
児童生徒理解を中心とした教職員の合同研修の実施や子ども同士の交流活動を充実させ中1ギャップの解消に努めている。

### 児童生徒のようす

明朗で礼儀正しく、落ち着いた態度で学校生活を送っている。特に、学習に対する意欲が高く、学習課題について、協力し考えを深める姿勢が身に付いている。また、定期的に小中の交流を行うことで、相互の信頼感を高め、個々の自信や将来の意欲につながっている。

### 地域のようす

JR宇都宮線小金井駅を最寄りの駅とし、交通の要所である国道4号線を中心線として、東西に開けた自然豊かな地域である。また、旧来より日光街道の宿場町として栄え、下野国分寺跡や国分尼寺跡などの文化遺産を有する歴史と伝統ある地域である。保護者や地域住民は学校の教育活動に理解があり、協力的である。

### 学習指導部会

- ◇ 授業研究チーム
  - ・ 重点教科の9年間の連続性
- ◇ 学力向上チーム
  - ・ 家読
- ◇ 特別支援チーム
  - ・ 小中の情報交換と交流

【学びをつなぐ】



小学校・中学校で共通して「家庭学習協調週間」を設定するなど、9年間の学びをつなぐ、揃えることで、安心して学習に取り組めるように工夫しています。

### 児童・生徒指導部会

- ・ 子ども未来プロジェクトの推進
- ・ 国中学校区生活のきまりの見直し
- ・ 小中学生交流活動

【小中交流】



小学生や中学生の代表が、子ども未来プロジェクトの活動について話し合ったり、6年生と中学生が交流したりします。

### 健康安全指導部会

- ◇ 体力向上チーム
  - ・ 新体力テストの結果を踏まえた活動
- ◇ 健康づくりチーム
  - ・ 生活習慣チェックカード

【食育授業】



栄養教諭が中学校や小学校で食育の授業を行います。

### 【学校保健委員会】



学校医、PTA役員、地域の方、小中学校職員と児童・生徒の代表等が参加して、各校の健康課題の共有をし、対応について話し合っています。

### 地域連携部会

- ・ 里山活動
- ・ 読み聞かせ
- ・ 作品交流

【読み聞かせ】



中学生が地域の読み聞かせボランティアから指導を受け、小学生に読み聞かせを行います。

### 【作品交流】



小学生や中学生の作品を互いに鑑賞し合ったり、公民館や学校に展示したりしています。